

440 mもの長さを誇る畝の雄大な景色。涼しい風に秋らしい気温の9月29日(土)、世界一のいも掘りまつりが上富で開催されました。町内外から約850人が参加し賑わうなか「やった！採れた！」などの歓声が上がリ、たくさんの笑顔がはじけました。

土が秘訣の伝統農法

三芳町の農家が江戸時代から代々受け継いできた伝統農法「落ち葉堆肥農法」。三芳の平地林の落ち葉が作り上げたやわらかな土は、自然の力がぎゅゅとつまっています。そんなこだわりの土で育ったさつまいもは愛情たっぷり。品種はホクホクした食感と甘さが特徴の紅東。シンプルに焼き芋やふかし芋にしても、天ぷらなどの料理にしてもおいしいさつまいもです。子どもも大人も泥だらけになって、自然を全身で感じながら収穫を楽しみました。

魅力発見体験ブース

いも畑での収穫以外にも、楽しく魅力体験できるブースがたくさん。収穫会場周辺には、ひまわり迷路やトラクター写真撮影スポットがあり、三芳の風景とともに、記念撮影をする人の姿がみられました。さらに、オリジナルのリースを作ることもできるブースも。花や松ぼっくりなど自然の素材を使って、世界に一つだけのリースを作りました。また、上富小学校の屋上では三富の地割見学が行われ、景色を楽しみながら、歴史にも触れることができました。

三芳の味力を堪能

たくさんの体験で楽しんだ後は、上富小学校の食ブースで一休み。地元の団体やお店が屋台を出店。三芳の食材を使ったカレーなども登場し、三芳の味力をおいしく体感しました。

いも畑に出を一緒に

遊ぶ、食べる、体感する。三芳の魅力が詰めこんだ「世界一のいも掘りまつり」。子どもから大人まで、自然の中であふれた笑顔は大切な思い出。いもと一緒に思い出を持ち帰る、参加者の笑顔が輝いていました。

いも、おなかの中に。笑顔、こころの中に。

風のささやき。土の香り。あふれる笑顔。

世界一のいも掘りまつり

9月29日(土)、町内外から約850人が来場した「世界一のいも掘りまつり」。当日は小雨が降り、肌寒い程でしたが、会場ではそんな天気を吹き飛ばすような明るい笑顔があふれていました。



①トラクター撮影スポットで記念撮影。農園気分が高まる体験で自然と笑顔が溢れます。②大人も夢中になっていも掘り。いもを収穫する喜びは全世代共通です。③親子で力を合わせて収穫。小さな子どもたちはやわらかい土の感触を楽しんでいました。④子どもの顔よりも大きないも。自分で掘ったいもは特別なおいしさ。⑤自然の材料を使ってリース作り。⑥カラフルないもはん体験。野菜の切り口から楽しい模様が生まれます。

土に触れて土を知る。遊びの場は学びの場に。